

(工学部)

公益財団法人フジシールパッケージング教育振興財団 平成 28 年度奨学生の募集

2016. 4. 1

1 応募資格(下記の全てに該当する者)

- 1) 応用化学(プラスチック製品)、機械工学、電気電子工学、高分子工学等の工学系およびデザイン関係を学ぶ、学部 3 年生。
- 2) 私費外国人留学生(在留資格「留学」)。
- 3) 日本語もしくは英語でレポートが可能なこと。
- 4) パッケージに興味・関心のある者。
- 5) 他からの奨学金を受けない者。

※IMAC-U(3.5 年)の学生は、国際交流係で要件を確認してください。

2 支給額及び支給期間

月額 10 万円、2 年限度(2016 年 4 月から 2018 年 3 月)

3 提出書類

- 1) 奨学金申請書 (所定用紙、A3 サイズで印刷、写真貼付、日本語で自筆)
- 2) 指導教員の推薦状 (A4 サイズ1枚 様式任意 ワードプロ作成可、要押印)
- 3) 在学証明書
- 4) 成績証明書 (現課程のもの)
- 5) 在留カードの表裏コピー
- 6) 審査のためのレポート(A4 サイズ 1~2 枚)
- 7) 経済状況調査 (所定用紙, 2016 年 4 月 1 日現在)
- 8) 身上調書 (所定用紙, 2016 年 4 月以降提出済の場合不要)
- 9) 家計状況申告書 (所定用紙, 2016 年 4 月以降提出済の場合不要)
- 10) 指導教員による成績評価(私費外国人留学生各種奨学金申請用)(所定用紙、2016 年 4 月以降提出済の場合不要)

4 推薦人数

工学部から 1 名を推薦

5 申請書類の提出先

工学部・工学研究科教務課国際交流係

6 締切日 2016 年 4 月 11 日(月)

**フジシールパッケージング教育振興財団
奨学金申込書**

年 月 日 現在

大学名	学部	学科	学年	写真
フリガナ		学籍番号		
氏名 印		性別 男・女	生年月日 年 月 日生	
現住所 〒		電話	携帯電話	
(緊急連絡先)		E-mail		
フリガナ		住所 〒		
氏名 印		関係	電話	

年	月	学 歴

ご家族氏名	続柄	年齢	ご職業等

1. 奨学金を希望する理由 及び 使途

2. 主として学んでいる内容

3. 学業以外で取り組んでいること(ボランティア活動サークル・趣味・他)

4. 卒業後の進路・目標

5. 国際的な興味・関心事について



2016年3月25日

東北大学
総長 里見 進 様

公益財団法人フジシールパッケージング教育振興財団

理事長 藤尾 正明



奨学生ご推薦のお願い

拝啓

陽春の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。さて早速ではございますが、私ども公益財団法人フジシールパッケージング教育振興財団（略称「フジシール財団」）は、2005年12月20日に文部科学省によって認可を受け、2013年からは公益財団法人として人材の育成を目的として奨学生を募集し奨学金の給与事業を行っております。

2016年度は、新たに34名の奨学生の採用を予定しております。

つきましては、貴大学より弊財団の趣意に合致する学生のご推薦を賜りたく下記お願い申し上げます。ご推薦いただいた学生より本財団にて選考を行い2016年度の奨学生を決定する所存です。

ご多用のところ大変恐縮ではございますが、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

記

<ご推薦依頼人数>

・学部生	第1学年	1名
・修士課程	第1学年	1名
・外国人留学生	第3学年	1名

以上



2016年3月25日

東北大学

教育・学生支援部 学生支援課 経済支援係 御中

奨学生ご推薦のお願い

拝啓

陽春の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。さて早速ではございますが、私ども公益財団法人フジシールパッケージング教育振興財団（略称「フジシール財団」）は、2005年12月20日に文部科学省によって認可を受け、2013年9月からは公益財団法人として人材の育成を目的として奨学生を募集し奨学金の給与事業を行っております。

2016年度は新たに34名の奨学生の採用を予定しております。

つきましては、貴大学より財団の趣意に合致する学生のご推薦を賜りたく下記お願い申し上げます。ご推薦いただいた学生より本財団にて選考行い奨学生を決定する所存です。

ご多用のところ大変恐縮ではございますがご支援賜りたくお願い申し上げます。

敬 具

記

1. ご推薦依頼人数

・学部生	第1学年	1名
・修士課程	第1学年	1名
・外国人留学生	第3学年	1名

2. 同封書類

① フジシール財団設立趣意書	1部
② 奨学生募集要項「一般学生向け」	1部
③ 奨学生募集要項「外国人留学生向け」	1部
④ レポートテーマ	1部
⑤ 奨学金申し込み書	1部
⑥ フジシールグループの会社案内	1部
⑦ 掲示用ポスター	3部

以上

〒532-0003 大阪市淀川区宮原4丁目1番9号
フジシール財団 事務局 香坂 弘之
TEL:06-6350-1089 FAX:06-6350-3053
E-mail:hiroyuki_kohsaka@fujiseal.co.jp

公益財団法人 フジシールパッケージング教育振興財団
平成28年度奨学生募集要領「留学生向け」

1、趣旨

公益財団法人フジシールパッケージング教育振興財団（以下本財団という）は、向学心に富み、学業優秀者であり、かつ、品行方正である学生のうち応用化学（プラスチック製品）、機械工学、電気電子工学、高分子工学等の工学系およびデザイン関係の学部学ぶ外国人留学生に対して、奨学金を給与することにより、有為の人材を育成することを目的とします。

2、特徴

この奨学金の特徴は次のとおりです。

- (1) 奨学金は給与とし、返済の義務はありません。
- (2) 奨学生の卒業後の就職、その他一切については、本人の自由とします。
- (3) 他の奨学金との併給は、原則として認めません。

（但し、独立行政法人日本学生支援機構の奨学金は除きます。）

3、奨学生の応募資格

- (1) 外国の籍を有し、在留資格「留学」を有するもの。
- (2) 応用化学（プラスチック製品）、機械工学、電気電子工学、高分子工学等の工学系およびデザイン関係の学部学ぶ外国人留学生。
- (3) 向学心に富み、学業優秀であり、かつ、品行方正であるもの。
- (4) 国際親善に理解を持ち、貢献を期するもの。
- (5) 日本語もしくは英語でレポートが可能なこと。
- (6) パッケージに興味・関心のあるもの。
- (7) チャレンジ精神が旺盛で国際感覚をもつもの。

4、採用人員

10名（大学生第3学年）

5、奨学金の額と給与の方法

- (1) 給与金額

月額10万円

- (2) 給与期間

奨学生に採用したときから、2年間を限度とします。

但し、各学年の進級時に応募資格に沿って適正審査を行い、継続の可否を決定します。

- (3) 給与の方法

奨学金は原則として、6月9月12月及び3月に各3か月分をまとめて直接本人に給与します。（本人名義の銀行等の預金口座に入金します。）

6、奨学金の休止、停止または廃止事由

- (1) 退学したとき。
- (2) 奨学生が休学し、または長期にわたって欠席したとき。
- (3) 奨学生が原級にとどまったとき、または卒業延期の恐れが生じたとき。
- (4) 傷い、疾病などのため成業の見込みがなくなったとき。
- (5) 奨学生の学業成績または性行が不良となったとき。
- (6) 奨学生を必要としない理由が生じたとき。
- (7) 本財団が指定する義務を怠ったとき。
- (8) その他奨学生として適当でない理由が生じたとき。

7、手続

(1) 提出書類

- ① 奨学生申込書（本財団指定用紙を使用すること。）
- ② 推薦状
- ③ 入学校の在学証明書
- ④ 成績証明書
- ⑤ 外国人登録原票記載事項証明書
- ⑥ 審査のためのレポートまたは制作物（添付資料を参照）

(2) 提出方法

本人が書類を揃えて、大学事務局を通じて本財団宛て郵送すること。

(3) 提出期限

平成 28 年 4 月 30 日 財団着

(4) 提出先（連絡先）

〒532-0003

大阪市淀川区宮原 4 丁目 1 番 9 号

公益財団法人フジシールパッケージング教育振興財団 事務局

TEL: 06-6350-1089 FAX: 06-6350-3053

8、奨学生の決定

- (1) 奨学生の決定は、本財団の奨学生選考委員会の選考を経て理事会が行い、その結果を本人に通知します。
- (2) 選考の経過および決定の理由は公表しません。

9、奨学生の義務

奨学生は 5 月に成績証明書、在学証明書および生活状況報告書を理事長宛報告しなければなりません。また、年に 1~2 回、本財団の主催の研究会に出席するとともに、本財団から別途報告書、レポート、制作物などの提出を求められた場合（年 4 回程度）は遅滞なく提出しなければなりません。

以上

平成 28 年度レポートテーマ

フジシール財団

下記 2 つのテーマの内いずれか 1 つを選択し、レポートを作成して下さい。

レポートは A4 用紙 1 ～ 2 枚と致しますが、書き方・内容・形式などについては、自由とします。内容だけでなく、その発想のユニークさや表現方法なども採点の基準となりますので、創意・工夫して下さい。

記

1. 既存商品の改善案

世の中にはいろいろなパッケージが溢れています。身近にある商品のパッケージを 1 つ取り上げて、そのパッケージ独自の特徴を説明して下さい。加えてそのパッケージに関して、下記のような視点を参考にして、自分の思いを記載下さい。

(1) 既存商品パッケージの特徴

(2) 機能やデザイン等どんなことでもいいので、

① 足りていない（または、物足りない）と思うこと

例えば、こういう機能もほしい、こういうデザインがあったらいい

② 逆に、多過ぎる（または、無駄・もったいない）と思うこと

③ 便利性（使いやすさなど）

④ 安全性への配慮

⑤ 環境に配慮したパッケージ

⑥ 高齢化等に伴うユニバーサルデザインに配慮したパッケージ 等々

(3) 上記で挙げた問題点を解決(改善)するにはどうすればいいと思うかをできるだけ具体的に述べて下さい。

2. 新しい（夢の）商品、パッケージの提案

皆さんが考える夢の商品・パッケージを提案して下さい。CVS やスーパーで思わず手に取りたくなるような商品企画を期待しています。

商品を企画するにあたって、現在、または近い将来に起こり得る社会現象やトレンドを取り上げて、その商品との関連性を結びつけて下さい。

◎社会現象の例

- ・ 少子高齢化
- ・ 女性の社会進出の加速化
- ・ 低金利
- ・ 消費税率アップ
- ・ モバイル端末の隆盛
- ・ 人工知能の発達

等々

以上

公益財団法人フジシールパッケージング教育振興財団
設立趣意書

今日、わが国のみならず、世界中の各国において、商品パッケージの社会的な重要性が、従来に増して、ますますクローズアップされています。

それは、商品パッケージが、商品の中身を保護し、品質を保持するだけでなく、断熱・保熱・封緘・遮光など安全性を高めるなど「機能的役割」を果たし、内容物の説明、消費期限の明示など「表示的役割」に加えて、さらに「商品の顔」としてその訴求力を高めて、社会的な価値を創造しているためです。

従って、商品パッケージ、とりわけその機能と表示的役割に関する研究に従事する者の育成、研究意欲の助成ならびにその成果を育成することは極めて緊要のことです。

当財団の設立者である藤尾正明は、つとにこの点に着目して、これに強くかつ深い情熱を注ぎ、わが国のみならず、世界の商品パッケージ界の当面する幾多の問題に常に率先して適切な提案と措置を行い、寧日なく指導と助成の手を差し伸べてきました。

ここに同氏は多年抱いてきたその意志を実現するため、公益財団法人フジシールパッケージング教育振興財団を設立し、いささかながら、わが国および世界の商品パッケージ、取り分け、その機能的・表示的役割の振興を図ると共に、その研究開発に従事する人材の育成、研究開発の奨励・助成をし、わが国および世界中の経済、産業の発展に寄与せんとするものであります。

この目的を達成するための当法人の事業は、応用化学（プラスチック製品）、機械工学、電気電子工学、高分子工学等の工学系およびデザイン関係の学部に通じる国内の大学生および大学院生ならびに外国人留学生に奨学金の支給をし、社会有用の人材育成と技術研究に寄与したいと考えております。

株式会社フジシールインターナショナルの創業者である藤尾正明と藤尾弘子の出捐により本目的が遂行され、斯界の進展と日本および世界中の商品パッケージの水準向上に、いささかでも寄与することができれば、最も欣快とするところであります。

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2016.02.03

1 申請の前に

- ・募集要項をよく読み、自分が条件に合っているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。(認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります)
- ・他の財団に大学推薦されている場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。
(ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます)
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合は交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

2 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回のものを流用せず新たに願書を作成してください。
 - ・消えるボールペン(フリクション)は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。
(消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません)
 - ・なるべく修正液(テープ)や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
 - ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
 - ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
 - ・相手方に失礼のないよう、少なくとも記入欄の5～8割(文字数指定がある場合は7～8割)は記入するようにしてください。
 - ・すべて書き終えたら、記入漏れなどがいないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし(数字なら0)」等と記入して下さい。
- ※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

3 その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合には指導教員または所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。その際は必ず所属部局の奨学金担当係に確認してください。
- ・申請に必要な書類に不足はないか、提出の前に必ず確認してください。特に過去の成績証明書の不足が多いので注意して下さい。
- ・大学を通さず直接応募または継続受給を希望し採用された場合は、必ずその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

* 2016年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

私費外国人留学生身上調書

2016.4月現在

1. 身分・名前等

身分	学部 年、学部研究生、 MC 年、DC 年、大学院研究生		学籍番号	
学科名 専攻名		指導 教員名	研究室 TEL	
氏名	(漢字)			既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国籍	
東北大学 入学前の 在籍大学		年 月 卒業・修了		
東北大学で の移動 (新しい順 番に)		年 月 ~ 現在		
		年 月 ~ 年 月		
		年 月 ~ 年 月		
住居 (○で囲む)	<input type="checkbox"/> 東北大学国際交流会館 <input type="checkbox"/> 三条ユニバーシティハウス <input type="checkbox"/> 仙台第一国際交流会館 <input type="checkbox"/> 仙台第二国際交流会館 <input type="checkbox"/> 県・市営アパート(住所) <input type="checkbox"/> 民間アパート(住所)			

2. 家庭状況 (現在同居する者だけを記入してください。)

配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する)

氏名	続柄	年齢	勤務先または学校名

* 2016年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在籍	学部 年	学籍番号	
	MC 年、DC 年、大学院研究生		
氏名			

家計状況

* 2015年4月から2016年3月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 2016年4月入学の方は、2015年10月から2016年3月の家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 収入と支出の合計が同じになるように記入してください。

収入		支出	
自国の家族等からの送金	円	食費	円
奨学金(本人)	円	家賃	円
奨学金(同居家族)	円	光熱水料費	円
アルバイト(本人)	円	交通・通信費	円
アルバイト(同居家族)	円	その他	
貯金から	円 ()		円
その他	()		円
()	円 ()		円
()	円 ()		円
合計	円	合計	円

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか? 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間		月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

平成28年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
平成27年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
平成26年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった

指導教員による成績評価(私費外国人留学生各種奨学金申請用)

この評価は、指導されている私費外国人留学生が各種奨学金へ応募する際に記入していただくものです。**(2016年4月以降に、他の奨学金で既に提出済みの場合は不要です。)**

- 1) 研究室内の他の学生を基準にして、相対的に評価をお願いします。
- 2) 評価はA・B・Cのいずれか、または、評価不能(指導して日が浅い場合など)を該当欄に○印をお願いします。

留学生氏名: _____

所 属: _____ 学科・系 _____ 年次・研究生
_____ 専攻・前期 _____ 年次・研究生
_____ 後期 _____ 年次・研究生

評価	成績評価内容
	A(非常に優秀)
	B(優秀)
	C(良好)
	評価不能

* 評価不能の場合、その理由を記入ください

理由:

平成 年 月 日

記入者(指導教官、クラス担任等)

所属 _____
官職 _____
氏名 _____ 印